

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和八木		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・担当制の為、支援が一貫性を持って進めることができます。	・役割ごとにクラス分けを行い、少人数で一人ひとりに合った対応を実施しています。(大きな活動は全員で参加しています。)	・グループに所属しながら最初から最後まで物事を成し遂げられるよう提供方法を考えています。
2	・商店街交流として職場体験や地域交流を実施させてもらっています。	・基本的なマナーの講義で学んだことを、様々な活動の中で活かすことができるように、工夫しながら声かけ促しを行なっています。	・一般社会への移行を見据え、準備段階から販売に至るまでのスケジュールに携わり、就労に必要なスキルの向上を支援しています。
3	・就労移行支援事業所との交流、社会でのスキルや困り事など経験談を聞く事ができます。	・昨年就労移行支援事業所より講義をして頂いた内容を元に、社会に出る事への意識を持つことができるようサポートしています。	・グループワークなど意見を交換し合える環境設定や友達関係を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援室が1室のため、活動に集中することができない時があります。	・自分で選んだ活動のスケジュールや計画を立て最後までやり遂げる事ができる様にサポートします。	・与えられた活動ではなく能動的に活動を実施し、最後まで自分たちでやり遂げることができる様にサポートをしています。次年度からは中学生クラス、高校生クラスを分けて支援していきます。
2	・思春期の子どもたちに必要な講座が不足していると感じています。	・思春期の利用児が多く、男女間での距離の取り方やコミュニケーションに関する支援が必要と感じています。	・職員一人ひとりが思春期の子どもたちの課題や対応スキルの向上と共に、これまで以上に支援者に子どもたちから相談することができる信頼関係の構築を目指します。 ・令和8年度より中高生に対して、思春期の課題に対する講義を増やす予定です。
3	・保護者様と職員の連携が少なく感じます。	・自立に向けた支援を行っていることから、子どもたちが一人で通所することが多く、保護者様と情報共有する機会が少なくなっていると感じています。	・保護者様も一緒に活動できる取り組みを考えていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和八木

公表日 2026年3月2日

利用児童数 38名

回収数 10名

：	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2	0	1	スペースが少し狭いとは、感じます。	・次年度からは、中学生、高校生のクラス分けを行い、年齢に応じたサービス提供を行うとともに、活動スペースの確保に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0	すごく手厚くしてもらってます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	3	0	0		情報が視覚的に入りやすいようにホワイトボードやマークの活用を行っています。入口やフロアはバリアフリーになっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	3	0	0		情報が視覚的に入りやすいようにホワイトボードやマークの活用を行っています。入口やフロアはバリアフリーになっています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1	0	0		職員ミーティングやケース検討を通して多角的な視点から支援内容を検討し支援を提供しています。外部研修への参加や内部研修を実施し、継続的な専門性の向上に取り組んでいます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1	0	0		HPで支援プログラムを公表しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1	0	0	いつも様子を細かく説明してくれて、子供のことを理解して進めてくれています。	挨拶・報連相・時間管理・作業遂行力・対人スキルなど、就労に必要な力を整理し、子どもの特性に応じた段階的な目標設定を行っています。保護者様の意向も踏まえ、将来を見据えた支援計画の作成に努めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1	0	0		保護者様のニーズや子どもの困り感にも着目し、ガイドラインにある「本人支援」「家族支援」「移行支援」から必要な支援を選んでいきます。計画書にはどのように支援していくのか具体的に記載しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		個別支援計画書に沿った支援を実施しています。子どもの変化が見られた場合は計画書変更を実施しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0		活動プログラムが固定化しないよう全職員で支援プログラムを作成しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	3	3		現在、実施しておりません。
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1	0	0		計画書作成後は、必ず保護者様に目標と支援内容を説明し、保護者様同意のもとサービス提供しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	3	1		定期的な保護者面談や個別相談を通して、家庭での関わり方や進路・就労に向けた情報提供を行っています。また、必要に応じて保護者向けの学習会や情報共有の機会を設け、家庭と連携した支援体制の構築に努めています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1	0	0	いつも丁寧に説明してくれています。	支援後のフィードバック時や保護者からの相談時に情報共有をするようにしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	0		保護者様から要望があった際は、担当職員、または児童発達支援管理責任者が相談時間を作り対応しています。

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	1	4	3	利用して短期間のため不明です。	現在、実施しておりませんが、ご要望があれば検討していきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	2	0	1		支援時間やご利用日以外にも相談する時間を設けていただいています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1	0	0		次年度からは情報伝達が円滑に行えるように、情報共有ツールの導入をしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	4	0	3		活動概要はInstagramを通じて行っています。予定等の連絡事項は文書で一人ひとりに伝達しています。自己評価の結果はホームページで公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	2	0	1		契約時に個人情報同意書、撮影同意書の承諾を得ています。また、個人情報ファイルは鍵付き書庫で管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	3	1	4		事業所では、感染マニュアル、防災マニュアル、重要事項説明書をいつでも閲覧していただけるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	4	0	6		年3回の避難訓練（地震・火災・防犯）を実施し、報告書を掲示しています。BCPの机上訓練も実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	4	0	2		安全確保するための計画を作成していません。契約時に説明するようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	4	0	2		契約時に頂いている緊急連絡先へ速やかに連絡し、状況と対応の説明をさせていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	5	0	0	利用日当日は拒否傾向が強い状況ですが、行ったら行ったで楽しんで帰ってくる状況です。	講義や職場体験を通じて「働く」ことの意味や学び、自分の将来について考える機会を提供し、子どもたちが将来、社会の中で自分らしく働き、生きていくことができるようサポートしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和八木		公表日		2026年3月2日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	1		・イベント出店などの際は人員不足を感じる場合がありますが、職員同士でフォローできる体制や役割分担をしています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		・講義資料は必ず配布し、子どもがメモを取ることができるように支援しています。 ・支援に使うものは、決められた場所に置くようにしています。	特性や性格など、考慮し座る場所の提供等実施している。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1	・毎日清掃を実施しています。適宜換気も心がけています。 ・子ども活動に合わせて室内環境を変更しています。	感染委員会にて研修を受け時間ごとに使用した遊具や備品の消毒を徹底して対応します。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		・その日の気分や体調により個室使用をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		・業務改善は職員間で話し合って進めています。業務改善後は検証し、新たな課題に対する対策をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		・保護者からのご意見を基にミーティングを実施し改善策について話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		・管理者と話す機会を作っています。（1on1ミーティング）	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	2		・現在、実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5		・職員のスキルアップのため、学びたい研修を受講することができています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		・HPで支援プログラムについて公表しています。	・HP公開していることを知らない職員がいたため、会社の取り組みや方向性を情報共有できるシステムを構築していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5		・子どもの困り感や保護者のニーズを取り入れ症例検討会で課題分析をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5		・症例検討を通して、職員が支援に対して意見を言い合える機会を作っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5		・朝礼で支援について話をする時間をとっています。計画書の目標に沿った支援内容を心掛けています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5		・職員全員参加の症例検討会を定期的実施しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5		・ガイドラインに沿った計画書書式を使い、子ども一人ひとりに必要な支援を計画しています。 ・保護者ニーズや子どもの困り感に対して必要な支援を計画書に設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5		・ミーティングの時間を作り、意見交換しながらプログラムを立案しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・朝礼で目的と支援内容の確認を行っています。 ・子どもの様子や成長発達に合わせた遊びの展開について研修を実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・個別の課題、集団での課題を症例検討で洗い出し必要な支援を提供することができるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝礼で支援内容と役割分担の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・支援終了後には振り返りを行い、必要に応じて課題の整理をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々記録の入力は翌日中に記入するようにしています。 ・記録を入力する時間を作るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・計画書の更新遅れがないように、管理しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5		・保護者のニーズや子どもの困り感を基に必要な支援を複数組み合わせさせて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	児童発達管理責任者、担当職員が参加し、職員にも情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・学校などの関係機関、行政とも連携し情報共有に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	・保護者より情報共有していただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・事業所が小学校高学年からの利用となるため、現在は行っておりません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・保護者、学校から依頼があれば、情報共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5	困りごとや問題発生した際は社内の多職種に依頼し助言や研修を実施しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		・現在、参加できておりません。今後検討し参加できるようにしていきたいと思えます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	療育後のフィードバック時やモニタリング時に情報共有を実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	ペアトレーニング等実施可能ではあるが、本年度対象の方がいなかった為実施していません。	現在対象の保護者様がない為実施していない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明しています。分からない事があった際は随時、説明しなおしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	6か月毎に計画見直しの為、保護者からの聞き取りを実施しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・計画書に保護者サインを頂く際は、目標と支援内容の説明をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	困り事、問題が発生した際は随時、事業所相談等を行い、解決に努めています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2		・きょうだい同志での交流する機会も、必要であれば今後検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	ご意見があった際は職員共有し、原因と今後の対応を検討しています。保護者説明も迅速に行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	イベント、役割活動など定期的にホームページなどにて発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・実績記録票などの個人情報の取り扱いは事業所ルールを作って取り組んでいます。 ・契約書類は鍵付きの書庫で管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・書面での情報共有をしています。 ・支援ではホワイトボードやカードを利用し視覚サポートをしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	就労特化型事業所として役割活動に力を入れています。商店街フェス・道の駅などに出席し地域交流、社会参加を実現しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・重要事項説明書、感染マニュアル、防災・防犯マニュアルをファイルにして支援室に設置し、いつでも閲覧できるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年間スケジュールに組み込み、随時訓練実施にて改善を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に既往歴・服薬の有無の聞き取りを行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・イベント等で飲食する際は、アレルギーに関する情報を職員で再確認しています。	イベント出欠の確認時情報共有しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	毎年感染、虐待防止・身体拘束、避難訓練（火災・地震・不審者侵入）、BCPの訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・契約時に事業所内の安全面について説明をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	安全管理委員会に報告書提出しています。全事業所で検討、再発防止の意見交換・情報共有の実施を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	年1回必ず職員研修実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	他者や自身への危険や事故に繋がる際、身体拘束マニュアルに沿って対応することを共有しています。	身体拘束マニュアルに沿って対応実施しています。	